

恋の場外乱闘



30歳目前、もう手段は選ばない。恋愛成就を求めて奔走する、覆面ライターの顛末は…

ああ、とうとう28歳に。誕生日は半ばやけくそでコンパに行った。そして収穫ゼロ。もう尼僧にでもなるか…。そんな時、CF編集部から一本の電話。「うちのHPにファンレター、来てますよ。37歳の勤務医さんから！」

好きよ♡ドクター 編



えっ、お医者さんってこと？ うへ、「しかも！ぜひ会いたいって」マジっすか？苦節半年。この連載もいよいよ断筆宣言か。目頭が熱いぜ。いやでも待てよ。37歳のドクターがシングルって怪しくないか？とはいえお見合い当日は、滅多に履かないスカートでキメッ！



この人が私にファンレターをくれた人？ うへ、狐にバカされているようだ。どんな奇人変人が来るかと思いきや、40歳前とは思えぬ爽やかなイケメン（死語？）。っちゅーか、「アタタ。ほっといてもモテるでしょーが」ってお人。あら、ゴメンなさい。ついヨダレが…



「お医者さんの生活って華やかでしょ？休日はリッツで夜景見ながらシガーくゆらせてそう」庶民派ライターのバカな質問に突っ返るドクター。「いやー、僕は地味ですよ。こないだ初めて『菊乃井』に行って、「美味し過ぎる…」って感動してました（笑）」



ちょっと眉丈高じゃないのねえ。「先生」と呼ばれる特権階級に、偏見を抱きまくってた私は、ますます彼の病、小児科のドクターでなければ、生涯の主治医になって欲しかった。「良かったら駅まで送りますよ」。お、お持ち帰り？ いや、ボントに駅で下ろされた。アタタ、私のファンちゃんかい！

店長「ウチのトリカラの味、ちゃんと守ってるんやろうなッ」
厨房修業中「うーん、この卵のふんわり感、どーやって出してるんやろ？」まかない担当N「明日の献立何にしよう…」ホール担当S「美味ひい」靴を脱いでの畳の座敷、京都家を利用したハコに、飾らず気取らずの美味しいゴハン。「自分ちミタズ」なんて、有り難い御言葉をしぼしぼ頂戴するウチのまかないタイムは、皆で食卓を囲んで食べる。家庭の図。今日の献立は、当店自家慢鶏の唐揚げを、たごぶりの卵とだして包んだ唐揚げ親子丼。味に厳しい店長ババに、メニュー作りを頭を悩ますママ料理人、ママの味と技を盗みたい、勉強中のお姉ちゃん。開店前のほっと一息、ジャンバラ屋一家の夕食は今日も各々の思いを一身に受け、過ぎていくのだから。



鶏の唐揚げとじ丼
レタスと玉ねぎのサラダ、タルタルソースのせ

頑固おやじに勤勉ムスメ 京都家舞台のジャンバラ屋家物語



食べた人 田川理恵
調理担当の田川さん。料理の腕同様、「一口ちよっだい」の言葉を誘う食べっぷりも見事
●ジャンバラ屋 じゃんばらや
京都市下京区堀町通四条下ル
075-361-1245
◎17:00~23:00 (L.O.22:45) 第3日休

ロコミ情報カタログ

編集長の「今日のロコミ情報」CAT
「うちのまかない」

最高級近江米のもち米で炊いた「赤飯」の赤も、ちゃんと小豆の色だけ
定番「だし巻」は、箸でつまむとぶるんとたわみ、口の中でじゅわっとだしが溢れ出す
不動産のメニュー「焼餅」は塩漬ではなく、生の糖に塩を巻いて焼いた柔らかい食感



魚・タマゴ・野菜煮・炊き・焼きの満点、栄養分析図
お店は八瀬本店。おかみさんが朝の4時から起き出して、一つ一つ丁寧に手作りする「松花堂弁当」は1日限定30食。お昼休み真っ只中の12時30分、開店から約2時間半が平均売り切れ時間とあれば、保存料など添加物も一切必要ないわけで、バランスのとれた献立に加え、体への安心は折り紙付き。「特別なことはしていない家庭の料理」も、煮物のだしとりから炊飯に至るまで比叡山麓の湧き水のみを使っ

お弁当当番

田川幸華

八瀬大岩出町店
やせおいわでまちてん
京都市上京区河原町今出川上ル
075-212-8171
◎10:00~18:00/水休
電話予約可
デリバリー 不可
イートイン 不可

【その他メニュー】
名物鯖寿司 (1本) 1800円
変わり巻寿司 750円
特製うどん 480円
自家製胡麻とうふ 350円

580円

たり、食材の仕入先は定めて常にベストの産地から取り寄せたりと、言わねばならない。着につかれ折箱のあちこちから顔を出す。

K-ITE LAND カイトランド

京都の大学生の足跡は サブカルチャーの発信源

カイトは一日にして成らず

毎月1日発行
●問い合わせ先 カイトランド*パナリ
post@kiteand.co.jp
●配布先
イノブ北山店 恵文社一乗寺店 丸山書店北白川店 ボール・ミス SECONDHOUSE各店 JEUGA各店 TOWER RECORDS Virgin MEGASTORE アバンティ etc.

Kyoto Minima Magazine

京都フリ界の老舗 [KITE LAND]

はKyoto, Kansaiの「K」、ラテン語で「～の人」の意味を持つ「ITE」を合体させて命名。その名の通り京都の街を遊びこなす人のためのシネマ、音楽、イベント情報などを絶えず発信中。「81年創刊当初からその中心にいるのは学生で、現在所属の15名は好みのジャンルごとに勝手にチーム編成済み！そして、「とりあえず取材して来ーい！」なんて先輩たちの号令のもと、街へ出勤。続いた秘訣？ カイトがお店に並び、意見、感想が寄せられるとついついネ、フリへの宿敵「予算」をもろとせせず、今日もカイトはばく進中！

86年からカイト参加の末澤氏。3日がかりの配布作業がハード！しかし、市民権を得るにはこの活動が一番効くよ

まっくらライターに受けない、晴々の露野野露野のペンで、ついでこの間NHKの番組でも出演や20分制という美空の気があつたスネキ、再婚準備をすすめていきついでに決意をけけけけ、転じていくなかに時勢に災難がくるとCATにやられたと表現する、決してシリアス！1200円来た第四回がCATではない